

第13回カモメ・わくわく倶楽部リフト付バスで行く日帰りツアー

<奈良・室生の山里に桜を訪ねて!!>

満開に桜咲く「大野寺」、山里の自然に囲まれた「花の郷・滝谷花しょうぶ園」

去る4月8日(土)、花曇りで花冷えする中、第13回カモメ・わくわく倶楽部リフト付バスで行く日帰りツアー<奈良・室生の山里に桜を訪ねて!!>を開催しました。今回は初めて参加された方を含め13名と添乗員の海鷗トラベル 行澤さんを含め総勢14名で森ノ宮を出発しました。今回は、わくわく倶楽部が以前から時々利用している狭山交通観光バスで行きましたが、参加者の中で「乗りやすい」という評判の良い観光バスで、顔なじみになったバズガイドさんの案内で奈良へと向かいました。

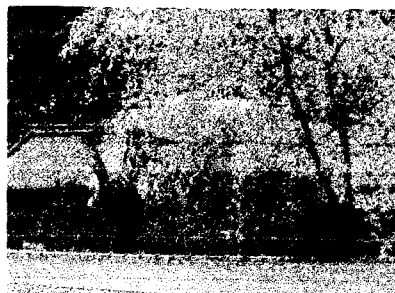
<当日の旅行コース>

9:00 森の宮発 ⇒ 10:00 針テラス ⇒ 10:30~11:30 大野寺 ⇒ 11:40~15:30 花の郷滝谷しょうぶ園 ⇒ 17:30 森の宮着

満開な枝垂れ桜の大野寺

森ノ宮から阪神高速、そして西名阪自動車道とスムーズに走り、「針テラス」でトイレ休憩をしました。「針テラス」は、以前わくわくで『メナード青山高原リゾート』に行った時もトイレ休憩で立ち寄りましたが、奈良県東北部、大和高原の中心し、名阪国道と国道369号線が交差する針インターにあるところなので、花見客等々で車も人も混雑していました。

室生の里に入り『大野寺』に行きました。この寺は女人高野の室生寺の末寺にあたるため「室生寺の西の大門」と呼ばれているそうです。当初、観光客



<大野寺の外壁から見た桜>

で駐車場が空いていない場合は素通りになるかも、という案内でしたが、運良く駐車場が空いて、バスから下車し周辺散策ができました。寺の入口には石段があったため、外壁から満開のしだれ桜を眺めましたが、目線が高いバスから見た方が一段と美しさが増しているようでした。寺のすぐそばを流れる宇陀川の対岸には刻まれた日本最大の弥勒磨崖仏がそびれていました。人間技とは思えませんでした。

チラホウ咲きの「花の郷 滝谷花しょうぶ園」

大野寺から少しに走ると「花の郷 滝谷花しょうぶ園」がありました。この園はのどかな山間にあり、3万3千平方メートルの敷地に、600種100万本もの花しょうぶが6~7月に咲き乱れ、芝桜やコスモス等の花も栽培されているそうです。



到着後、すぐに高台にある食堂でいき、地元でとれたと思われる山菜が入ったお弁当を食べました。食堂の横ではもちつきが行われ、威勢の良い声が聞こえ、つき立ての草もちをご相伴に預かりました。食事後は、満開には少し早いちらほら咲きの桜や春の花が咲く山郷ののどかな園内を、今回わくわくで配布しました「お花見セット」のお菓子と飲み物を持って、のんびりと散策しました。中には時間を持って余す参加者もおられました。

帰りは「道の駅『宇陀路室生』」に立ち寄り、土産物を買いました。そして、バスの中では恒例のビンゴゲームで盛り上がり、交通渋滞等もなく予定時間よりちょっと早く森の宮に着きました。